

地域に信頼される
病院を目指します



独立行政法人

国立病院機構

高知病院

National Hospital Organization

KOCHI NATIONAL HOSPITAL

独立行政法人
国立病院機構高知病院

Kochi National Hospital



基本理念

私達は心のこもった
医療を行い、

地域に信頼される

病院になることを
目指します。

病院の基本方針

良質で安全な医療を提供します。

地域医療連携を進めていきます。

働きがいのある職場環境を作ります。

教育、研修、研究を推進します。

次世代を担う医療人の育成に努めます。

政策医療を推進します。

高度医療を実践します。

経営基盤を確立します。

院長ごあいさつ

2020年（令和二年）は新型コロナウイルス（COVID-19）の歴史的ともいわれるパンデミックの年となり、世界は今まさに人々の命を救い、守るために人類の英知を集結してデータ収集と分析、既存薬剤の治験、新薬開発、ワクチン開発などに取り組んでいます。また、世界中の医療者はその使命感に基づき、患者さんの命を守るために最前線において懸命にその本分を尽くしています。このような状況下において、当院も国立病院機構病院、地域の病院として求められる役割を果たして参る所存です。

当院は26診療科により、主にながし（高知県がん診療連携推進病院）、呼吸器、骨・運動器、腎、成育、感染・免疫アレルギー（高知県難病医療提供体制整備事業における免疫分野拠点病院）に関する専門性の高い良質な医療と二次救急医療機関としての救急医療の提供をしています。また、国立病院機構病院の使命の一つとしてセーフティーネット分野の医療の提供がありますが、当院は重度心身障害医療と結核医療を提供しています。

また、当院は高知県災害拠点病院、高知DMAT指定病院としての役割を担っております。とりわけ南海トラフ地震を具体的な想定災害として高知県、高知市と連携し防災時に備えた準備を進めていますが、当院が果たすべき災害医療体制のより一層の充実を図って行きます。

少子高齢化、疾病構成の変化、医療経済的・地域的要因などにより、今後、地域医療を担う医療機関には、地域の限られた医療資源の効率的有効活用がこれまで以上に求められますが、当院も地域の医療機関とさらなる連携を建設的に進めて行きます。

臨床現場での医療提供には労働集約的働き方が基本的には必要ですが、これからの病院にはこれまで病院が提供してきた医療の質と量を担保しつつ、いずれ訪れるであろう、ポストコロナ時代のなんらかの社会環境変化に基づいた働き方への順応が求められるようになるのでしょうか。

最後になりましたが、地域の病院に求められるものは、目の前で求められる今日の、そうして明日の医療を継続して提供して行くことだと思いますので、患者様、地域の皆様、関係各位の声に常に耳を傾けながら、当院としての本分を果たして行く所存ですので何卒よろしくお願い申し上げます。

独立行政法人
国立病院機構高知病院

院長 先山正二



指定病院等

災害拠点病院

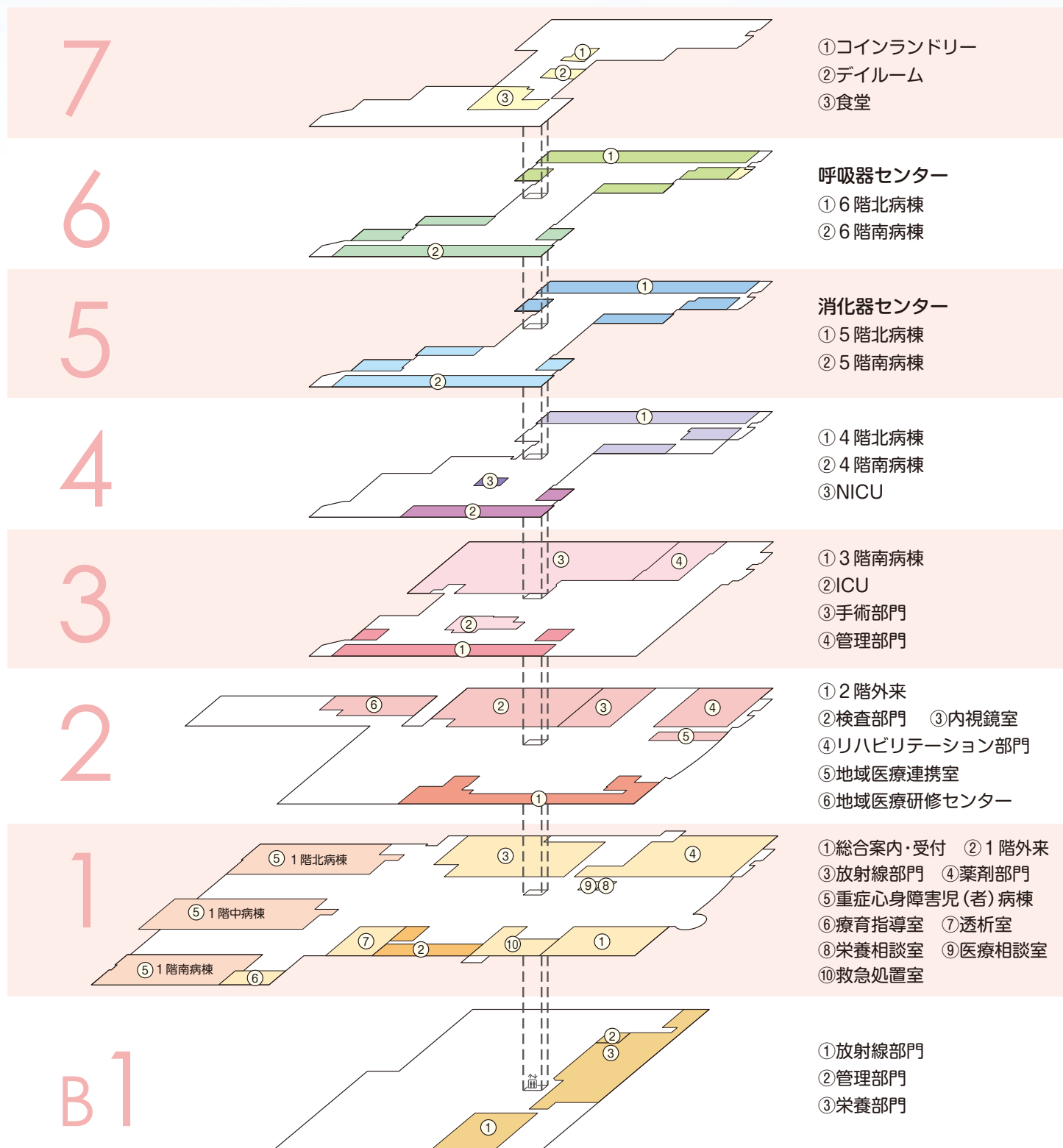
高知DMAT指定病院

高知県がん診療連携推進病院

臨床研修指定病院（基幹型）

第二種感染症指定医療機関（結核）

院内マップ



地域に 信頼される病院



診療機能

現在、当院は常勤医師47名、非常勤医師5名、研修医6名で27診療科の診療にあたっています。

特に高知県がん診療連携推進病院として、がんに関する医療に積極的に取り組んでいます。がんは日本人の死亡原因の第1位であり、その死亡率は3割近くを占めています。そのため、がんの予防、早期発見、早期治療は重要な課題となっていますが、進行したがんでも適切な診断と治療を行えば高い確率で完治が望めることができる病気となりました。

がんについては、呼吸器内科、消化器内科、婦人科、耳鼻科、泌尿器科、放射線科等を中心として診断と治療を行っており、侵襲を少なくするための腹腔鏡、胸腔鏡を用いた内視鏡下手術の導入や放射線治療、外来通院化学療法等を各部門と連携をとりながら積極的に取り組んでいます。

これらをさらに充実させるため、平成23年8月に呼吸器内科、呼吸器外科を統合した呼吸器センターを、平成25年6月に消化器内科と消化器外科を統合した消化器センターを設置して、内科、外科といった枠組みにとらわれず、患者さんに最適な医療を提供できるように各科専門医が各部門と協力して診療にあたっています。

また、小児科、産科は高知県内における救急輪番等の重要な役割を担っております。そして、整形外科をはじめとした外科系診療科では、それぞれの専門領域の疾患に対しての診察、診断、治療を必要に応じて他科と連携して行っております。

このように、診療部門では患者さんに最適な医療を提供するために、院内各部門はもちろん、近隣の医療機関とも連携をとりながら診療にあたっています。



手術室



ICU

放射線医療機器



マンモグラフィ装置



1.5テスラMRI装置



64列CT装置



リニアック装置



血管
連続撮影装置



救急外来



リハビリテーション科スタッフ



透析室



内視鏡室

チーム医療

多くの職員の連携と協力による「チーム医療」に取り組んでいます。

チーム医療とは、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・管理栄養士・理学療法士・作業療法士・言語療法士・放射線技師・臨床工学技士・医療ソーシャルワーカー・児童指導員・保育士・事務職員が、互いの専門性を尊重し、ひとつのチームを結成して治療にあたることで、最大限の能力を引き出し、患者さんに対して最も良い治療を行う医療現場の取り組みです。

当院では、感染制御チーム・栄養サポートチーム・緩和ケア・褥瘡予防対策・医療安全・多職種合同カンファレンス・退院支援のチームが活動しています。



多職種合同 カンファレンス



退院支援 カンファレンス



緩和ケア カンファレンス



褥瘡予防対策カンファレンス



ICT 環境ラウンド



NST ラウンド



医療安全BLS・AED研修

安心・安全な療養環境の提供

安心・安全に療養できるように入院直後に転倒の危険性を評価し、必要に応じて医療安全管理室やリハビリ科と連携しベッド周囲の安全性などに配慮しています。また、各部署ごとに業務の効率化や向上を目的に5S活動などにも積極的に取り組んでいます。



理学療法士による環境設定



ベッド周囲のチェック



年に1回、全職員対象に転倒転落防止のための講習会を実施



各部署ごとに年に1度、合理的かつ安全に医療の提供が行えるように業務改善に取り組む5S活動を展開。5S活動の発表会の様子

災害拠点病院

平成23年3月17日付で、当院は「災害拠点病院」「高知DMAT指定病院」に指定されました。

東日本大震災の際に、被災地に迅速に駆けつけ救急活動を行うための専門的な訓練を受けた医療チームを派遣しました。南海トラフ大地震にも備え合同訓練などに参加しています。



DMAT
：災害派遣
医療チーム



防災訓練〈広域訓練〉

教育・研修 臨床研究

当院は高知大学および徳島大学の学外実習施設として、全ての診療科で多数の医学生を受け入れています。また、結核に携わる医師が減少するなか、結核病棟での実習も担当しています。看護学校を併設しており、看護師の育成にも取り組んでいます。医師臨床研修制度における基幹型病院でもあり、県内の基幹病院との連携に加え、国立病院機構のネットワークを生かし、県外の機構病院での実習を取り入れて、初期・後期研修医の幅広いニーズに対応しています。

治験を含む臨床研究は医学の進歩のために必要不可欠であり、当院では臨床研究を積極的に展開するために、IRBおよび倫理委員会を毎月開催して審議を重ねています。治験管理室のスタッフが臨床研究をサポートし、国立病院機構が展開している大規模臨床研究にも積極的に参加しています。また、多くの職員が新規ワクチンの臨床研究などにボランティアとして参加しています。



治験管理室



附属看護学校でのウィルセレモニー

地域連携

地域連携は、当院が地域に信頼される病院を目指していく要です。連携には医療・福祉・介護連携と地域の方々との絆づくりがあります。

地域の医療・福祉・介護連携窓口として地域医療連携室・がん相談支援センターを設置しています。主な業務は、前方支援と後方支援、医療福祉相談です。前方支援は、紹介患者の受入対応、診察予約、医療機器共同利用予約、セカンドオピニオン、開放病床利用等の窓口としての機能があり地域の医療機関からの紹介患者の受け入れを積極的に行っています。後方支援は退院調整を専任のMSW、退院調整看護師が地域の医療機関、介護福祉事業所の方々と連携しながら行っています。

この他に公開講座として高知病診連携フォーラムを開催しており地域の医療機関の方々と一緒に専門の医療知識を学ぶ機会となっています。また、認定看護師の地域連携活動や医師等が出張出前講座に地域の病院の研修会の講師として伺っています。

地域の医療機関の方々と交流を目的に地域連携連絡会を年1回開催しています。

地域住民の方々との絆づくりとして健康フェスタを開催し交流の場になっています。

また、がん予防などについて医師が地域に出向いて啓蒙活動をしています。



地域医療連携室



認定看護師の地域連携活動



高知病診連携フォーラム



健康フェスタオープニング



健康フェスタ手術体験



がん市民公開講座

重症心身障害に対する医療

政策医療に基づく高度専門的治療を重症者から超重症児までを積極的に受け入れ、医療と生活支援の場として「療養介護」並びに「医療型障害児入所施設」の契約を行い、加えて「措置」も含めた福祉サービスを提供します。また、「短期入所」や「通所」を在宅支援サービスとして提供しています。また、隣接する県立特別支援学校とは医療・療育と教育が連携し、患者・利用者の生活圏の拡大や適応能力の促進を図り、QOLの向上を目指しています。



通園ルーム
(どんぐり)



療育
訓練室



重症心身障害病棟の全景



つくし
誕生会

概要

【診療科目】

内科・小児科・産科・精神科・外科・婦人科
神経内科・整形外科・眼科・呼吸器内科・脳
神経外科・耳鼻咽喉科・循環器内科・呼吸器
外科・放射線科・消化器内科・小児外科・麻酔科・
アレルギー科・皮膚科・リハビリテーション科・
リウマチ科・泌尿器科・歯科（入院対応のみ）
病理診断科・消化器外科・乳腺科（院内標榜）
合計 27 科

【専門外来】

・セカンドオピニオン外来 ・アレルギー外来
・禁煙外来 ・アスベスト外来 ・助産師外来

【病床数】

・一般…282 床（うち NICU…3 床・ICU…4 床）
・重症心身障害…120 床
・結核…22 床 合計 424 床

【診療の機能】

・ICU ・NICU ・透析室 ・外来化学療法室
・放射線治療（リニアック） ・救急部門
・リハビリテーション ・在宅支援通園センター
・療養介護サービス

※当院は「臨床研修病院」「災害拠点病院」「高知 DMAT
指定病院」「高知県がん診療連携推進病院」に指定され
ています。

沿革

旧国立高知病院

明治 31 年 3 月 31 日
高知陸軍衛戍（えいじゅ）病院として創設
昭和 20 年 12 月 1 日
国立高知病院として発足

旧国立療養所東高知病院

昭和 21 年
日本医療団により建設
昭和 22 年 4 月 1 日
厚生省に移管、国立高知療養所として発足
昭和 56 年 4 月 3 日
国立療養所東高知病院と改称

国立高知病院

平成 12 年 10 月 1 日
旧国立高知病院と旧国立療養所東高知病院を統廃合し「国立
高知病院」として発足

独立行政法人 国立病院機構 高知病院

平成 16 年 4 月 1 日より、国立高知病院は「独立行政法人国
立病院機構」の病院となる。これに伴い、正式名称は「独立
行政法人国立病院機構 高知病院」に変更

高知市内周辺から見た所在地



高知病院周辺地図



- ◎土讃線JR朝倉駅下車……………徒歩10分
- ◎とさでん交通路面電車朝倉駅下車……………徒歩10分
- ◎高知市内からバスの便あり（はりまや橋から25分）
・とさでん交通バス 学芸高校、須崎、宇佐行き
高岡、天王ニュータウン行き
（朝倉経由）
- ◎高知自動車道……………伊野ICより車で10分



独立行政法人
国立病院機構 **高知病院**

〒780-8507 高知県高知市朝倉西町1丁目2番25号

TEL 088-844-3111

FAX 088-843-6385

【URL】 <http://www.kochihp.com/>